

Noism 劇的舞踊 vol.3 ラ・バヤデール — 幻の国

演劇×舞踊で描き出す“幻の国”
そこに生きたはずの人々の声は、今誰に届くのか
記憶と歴史、語り継がれる慰霊の物語



演出：金森穰（りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督／Noism 芸術監督）

脚本：平田オリザ

振付：Noism1

音楽：L.ミンクス《ラ・バヤデール》、笠松泰洋

空間：田根剛（DORELL.GHOTMEH.TANE / ARCHITECTS）

衣裳：宮前義之（ISSEY MIYAKE）

木工美術：近藤正樹

舞踊家：Noism1 & Noism2

俳優：奥野晃士、貴島豪、たきいみき（SPAC - 静岡県舞台芸術センター）

【新潟公演】 2016年6月17日（金）～19日（日） りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

【神奈川公演】 2016年7月1日（金）～3日（日） KAAT 神奈川芸術劇場〈ホール〉

【兵庫公演】 2016年7月8日（金）～9日（土） 兵庫県立芸術文化センター〈阪急中ホール〉

【愛知公演】 2016年7月16日（土） 愛知県芸術劇場〈大ホール〉

【静岡公演】 2016年7月23日（土）～24日（日） 静岡芸術劇場

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 × 兵庫県立芸術文化センター × 愛知県芸術劇場 連携プログラム

製作：りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 協力：SPAC - 静岡県舞台芸術センター

助成：一般財団法人地域創造（新潟・兵庫・愛知公演） 提携：KAAT 神奈川芸術劇場（神奈川公演）

作品について

2004 年より、新潟を拠点に活動を続ける Noism。設立から 10 年以上経過した今なお、日本で唯一の劇場専属舞踊団として、芸術監督・金森穰率いるカンパニー活動と、舞踊家達の圧倒的な身体によって生み出される作品は国内外で高い評価を得ています。

Noism2016 年初夏の公演は、金森穰演出による最新作、劇的舞踊『ラ・バヤデー ルー幻の国』を上演します。オペラやバレエなどで知られる物語を、舞踊家の確かな身体と重層的な物語構造で Noism オリジナルの物語として描く「劇的舞踊」シリーズ。第 1 作目の『ホフマン物語』（10 年）、今年再演も行った『カルメン』（14 年初演）に続き、新たに創作するのは、古典バレエの名作『ラ・バヤデー ルー』を原案にした作品です。古代インドを舞台に、舞姫ニキヤと戦士ソロルの悲恋を描いた物語を、劇作家・演出家の平田オリザが大胆に翻案し、Noism へオリジナルの脚本を書きおろしました。

物語の舞台となるのは草原の国「マランシュ」。1 人の老人の曖昧な記憶を辿るように描かれる“幻の国”は、政治、宗教、民族など様々な人々の対立を経て崩壊の一途を辿ります。とある国の崩壊の物語を通して、記憶と歴史の中に存在したはずの人々の声は誰に届くのか。今を生きる私たちに問いかけます。

空間・衣裳・木工美術は、Noism との共作も多い建築家の田根剛、ISSEY MIYAKE デザイナー・宮前義之、家具作家・近藤正樹がそれぞれ担当。音楽は L.ミンクスの楽曲をベースに、Noism 作品には初参加となる音楽家の笠松泰洋が新たな音を加えます。

物語のメインキャラクター、踊り子ミランを演じるのは、Noism を代表する舞踊家の井関佐和子。ミランを愛する戦士バトルは中川賢、物語の鍵を握る謎の女ポーヤンには石原悠子と、Noism1 の舞踊家として成熟期を迎えているメンバーがそれぞれ主要な役を演じます。この 3 人を中心にメインカンパニー-Noism1 と研修生カンパニー-Noism2 の総勢 20 名が出演。また、今回は SPAC - 静岡県舞台芸術センターより、『カルメン』にも出演した奥野晃士に加え、貴島豪、たきいみきの俳優 3 名をゲストに迎えます。各分野のプロフェッショナル達と共にジャンルを越えて挑む、舞踊×演劇の最新作にご期待ください。

本作品は、りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館・兵庫県立芸術文化センター・愛知県芸術劇場の連携企画として、新潟での初演の後、兵庫・愛知を含めた全国 5 都市で上演します。日本で唯一の劇場専属舞踊団として、国内で有数の文化芸術の拠点である公共劇場と共に、確かなクオリティに裏打ちされた地域発の舞台芸術をめざします。これにより、文化芸術を継承しながら、創造・発信する劇場の役割を果たしていきます。



劇的舞踊『ホフマン物語』初演より（2010 年）
©Kishin Shinoyama



劇的舞踊『カルメン』再演より（2016 年）
©Kishin Shinoyama

Director's Note

金森 穰

劇的舞踊第3弾『ラ・バヤデール-幻の国』を創作している。本作品の創作はすでに昨年末から開始され、劇的舞踊第2弾『カルメン』の再演を挟んで、初演までおよそ6ヶ月かけて行われる。日本においてそのことが我々Noismの特権であることは自明だが、我々Noismにとっては公演以外の日々こそが活動の本質であって、作品とはその日々の営み（継続的鍛錬や偶然性に依拠する実験）の成果として生み出されるものである。

本作品の創作は、昨年夏に私が、劇作家である平田オリザさんへ「Noismのために何か書いていただけませんか」と依頼したことに端を発する。その背景には、上記したNoismとしての日々の営み、その実験成果を、如何に社会化できるだろうかという問いがあった。ここでいう社会化とはもちろん大衆迎合のことではなく、社会的問題提起のことである。しかもそれを単なる寓話による暗喩としてではなく、時事性を含んだもの、言い換えるならば現実的問題として、社会に表現できないだろうかと思ったのである。

平田さんから完全オリジナルよりも、古典バレエの脚色に興味があると言われ、私が提案したのが『ラ・バヤデール』である。そこには本作品が20世紀の巨匠たちによって未だ創作されていない事、そして原作の基礎であるカースト制（格差）、及び信仰（宗教）の問題が、現在我々を取り巻く社会問題と符合していると考えたからである。そして見事に平田さんは“幻の国”の物語を書き上げてくれた。

その“幻の国”を可視化するために、私がファッションデザイナー、建築家、音楽家、木工作家とタッグを組んだことの必然性は、そのすべての分野が民族に対する考察と不可分であることに依って明らかである。そして3人の俳優の登用は、語る身体も身体表現であるという自明なことを超えて、権力下における語らないモノ、語れないモノたちの存在を浮き彫りにし、非言語表現の力、言語化し得ぬものを社会に問うための、劇的舞踊の根幹に触れるものである。



Photo:Kishin Shinoyama

金森穰 Jo KANAMORI

演出振付家、舞踊家。りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 舞踊部門芸術監督/Noism 芸術監督。17歳で単身渡欧、モリス・ベジャール等に師事。イリ・キリアンにその才能を認められ20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で舞踊家/演出振付家として活躍したのち帰国。2004年4月、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。近年ではサイトウ・キネン・フェスティバル松本での小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。2014年6月より新潟市文化創造アドバイザーに就任。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。

www.jokanamori.com

Creators

平田オリザ Oriza Hirata >>>脚本

1962年東京生まれ。劇作家、演出家。こまばアゴラ劇場総芸術監督、城崎国際アートセンター芸術監督、劇団「青年団」主宰。東京藝術大学 COI 研究推進機構特任教授、大阪大学客員教授、四国学院大学客員教授・学長特別補佐。1995年『東京ノート』で第39回岸田國土戯曲賞受賞。2003年『その河をこえて、五月』(2002年日韓国民交流記念事業)で、第2回朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。2011年フランス国文化省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。近年はフランスを中心に各国との国際共同製作作品を多数上演、大阪大学の石黒浩研究室と共同でロボット・アンドロイド演劇の上演にも取り組んでいる。 www.seinendan.org



Photo : T.Aoki

田根剛 Tsuyoshi Tane (DORELL.GHOTMEH.TANE / ARCHITECTS) >>>空間

1979年東京生まれ。建築家。2006年、ダン・ドレル（イタリア）、リナ・ゴットメ（レバノン）と共に DGT. (DORELL.GHOTMEH.TANE / ARCHITECTS) をパリに設立。現在「エストニア国立博物館」（2016年秋完成）をはじめ、2012年に新国立競技場基本構想国際デザイン競技で「古墳スタジアム」がファイナリストに選ばれ国際的な注目を集めた。フランス文化庁新進建築家賞、フランス建築家国際大賞 2016 など受賞多数。2012年よりコロンビア大学 GSAPP で教鞭をとる。 www.dgtarchitects.com



Photo : Alexandre Isard

宮前義之 Yoshiyuki Miyamae (ISSEY MIYAKE) >>>衣裳

1976年生まれ。1998年に文化服装学院アパレルデザイン科を卒業。2001年から三宅デザイン事務所入社。三宅一生と藤原大が率いた A-POC の企画チームに参加。2006年から ISSEY MIYAKE の企画チームに加わる。2011年から ISSEY MIYAKE のデザイナーに就任。2012年春夏よりパリでのショーを手掛ける。2014年には毎日ファッション大賞の大賞を受賞。 www.isseymiyake.com



Photo : Olivier Baco

笠松泰洋 Yasuhiro Kasamatsu >>>音楽

作曲家。1960年福井市生まれ。東京大学文学部美学芸術学科卒業。作曲を故三善晃、ピアノを故山根美代子の各氏に師事。クラシックの作曲家として、室内楽からミュージカル、オペラ等を作曲して発表。蜷川幸雄作品をはじめとする演劇、森山開次や平山素子のダンス作品等、舞台性の強いものに数多くの音楽を提供する。オーボエとオーボエ系民族楽器（ズルナ、メイ等）を演奏し、新オリエント楽派、桜バンドのメンバーとしても活動している。



Photo : Hiroji Shibata

近藤正樹 Masaki Kondo >>>木工美術

1979年生まれ。大学卒業後、飛騨高山で木工技術を習得し、アイルランドの「ジョセフ・ウォルシュ・ビスポーク」にて家具製作を行う。08年に静岡県函南町に工房を構え作品制作を行っている。曲木と削り出しの技術を活かした、有機的な曲線美と軽やかさ、座り心地の良さを両立させた家具製作を得意とする。代表作は、羊椅子、マンタ、ゴブラなど、動物をモチーフとした椅子。近年は注文制作や個展での作品発表を中心に活動し、他分野とのコラボレーションも積極的に行っている。Noism では劇的舞踊『カルメン』、『ASU～不可視への献身』、『箱入り娘』の木工美術、小道具も担当。 www.masakikondo.com



りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本初の劇場専属舞踊団。演出振付家・舞踊家の金森穰がりゅーとぴあ舞踊部門芸術監督に就任したことにより、2004年4月設立。正式メンバーで構成されるプロフェッショナルカンパニーNoism1（ノイズムワン）と研修生が所属するNoism2（ノイズムツー）の2つのカンパニーからなり、日本国内をはじめ海外8か国11都市でも公演を行っている。09年にはモスクワ・チーフ国際演劇祭との共同制作、11年にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本制作のオペラ&バレエにカンパニーとして参加する等、その活動は多岐に渡り、新潟から世界を見据えたカンパニー活動と、舞踊家たちの圧倒的な身体によって生み出される作品は、国内外で高い評価を得ている。設立から10年以上を経た今なお国内唯一の公共劇場専属舞踊団として、21世紀日本の劇場文化発展の一翼を担うべく、常にクリエイティブな活動を続けている。第8回朝日舞台芸術賞舞踊賞受賞。

Noism 芸術監督 = 金森穰

Noism 副芸術監督 = 井関佐和子

Noism2 専属振付家兼リハーサル監督 = 山田勇気

Noism バレエミストレス = 真下恵

Noism1 = 中川賢、チェン・リンイ、石原悠子、池ヶ谷奏、吉崎裕哉、梶田留以、佐藤琢哉、リン・シーピン、
上田尚弘、田中須和子、浅海侑加（準メンバー）

Noism2 = 飯田利奈子、高木真慈、鳥羽絢美、西岡ひなの、深井響子、秋山沙和、西澤真耶




井関佐和子 Sawako Iseki

舞踊家。Noism 副芸術監督。1978年高知県生まれ。3歳よりクラシックバレエを一の宮咲子に師事。16歳で渡欧。スイス・チューリッヒ国立バレエ学校を経て、ルードラ・ベジャール・ローザヌにてモーリス・ベジャールらに師事。99年ネザーランド・ダンス・シアターII（オランダ）に入団、イリ・キリアン、オハッド・ナハリン、ポール・ライトフット等の作品を踊る。01年クルベルグ・バレエ（スウェーデン）に移籍、マッツ・エック、ヨハン・インガー等の作品を踊る。04年4月Noism結成メンバーとなり、金森穰作品においては常に主要なパートを務め、現在日本を代表する舞踊家のひとりとして、各方面から高い評価と注目を集めている。08年よりバレエミストレス、10年よりNoism副芸術監督も務める。



中川賢 Satoshi Nakagawa

1983年富山県生まれ。6歳から現代舞踊を和田朝子に師事。関東国際高校演劇科でクラシックバレエを後藤早知子に師事。日本大学芸術学部演劇学科洋舞コースを卒業後、新国立劇場等で、平山素子、中村しんじ、川野真子らのコンテンポラリーダンス作品に出演。また、帝国劇場等のミュージカルやショー等にも出演。10年1月よりNoism1所属。

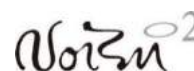


石原悠子 Yuko Ishihara

1988年神奈川県生まれ。8歳よりクラシックバレエを熊谷有梨に師事。神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻にて島崎徹らに師事。中村しんじ、川野真子、中村恩恵らの作品に出演。12年6月よりNoism1準メンバー。13年9月よりNoism1に所属。



Photo : Noiriki Matsuzaki

Actors

SPAC – 静岡県芸術文化センター

奥野晃士 Akihito Okuno

俳優。2000年よりSPAC – 静岡県舞台芸術センターに所属。主な出演作品に、鈴木忠志演出『イワーノフ』（イワーノフ役）、宮城聡演出『夜叉ヶ池』（山沢学円役）など。またNoism 金森穰演出振付の劇的舞踊『カルメン』やNoism0への参加で、舞踊と演劇のジャンルを超えた新たな取り組みへの出演でも注目を集める。さらに「リーディング・カフェ」「ふじのくに歴史演談」「動読（どうどく）」「舞語り」など、自ら立案した新企画も好評。14年よりスイスに移住し、舞台演出、出演の他、公立大学の演劇講師としても高く評価される。15年より「街援隊（がいえんたい）アート・ムーブ」の活動を始動。街と演劇の結びつきについて新たな境地を目指している。

**貴島豪 Tsuyoshi Kijima**

宮崎県出身。水戸芸術館ACM専属俳優を経て、1998年よりSPACに所属。鈴木忠志（前・SPAC芸術総監督）のもと、アテネで開催された第1回シアター・オリンピック（1995年）では代表作『ディオニュソス』の主演・ペンテウスを演じるなど数々の主要な役を務め、現在に至るまで多数のSPAC作品に出演している。そのキャリアの中で、クロード・レジやオマール・ポラスといったヨーロッパを代表する演出家とも長年親交を重ね、国内のみならず海外での上演経験も豊富。最近の出演作に、『ロミオとジュリエット』（演出：オマール・ポラス）、『真夏の夜の夢』（演出：宮城聡）、『室内』（演出：クロード・レジ）、『夜叉ヶ池』（演出：宮城聡）、『盲点たち』（演出：ダニエル・ジャンストー）など。

**たきいみき Miki Takii**

大阪府出身。文楽好きが高じて女優を志す。2001年劇団「ク・ナウカ」入団、06年よりSPAC在籍。宮城聡演出『夜叉ヶ池』、『ふたりの女 平成版 ふたりの面妖があなたに絡む』（作：唐十郎）、『真夏の夜の夢』（潤色：野田秀樹）、『黒蜥蜴』等にメインキャストとして出演。クロード・レジ演出『室内』で海外ツアーにも参加するほか、フレデリック・フィスバック、オマール・ポラス、ユディ・タジュディンら海外からの招聘演出家の作品でも印象的な役を演じている。



公演情報

Noism 劇的舞踊 vol.3

『ラ・バヤデール-幻の国』

演出：金森穰

脚本：平田オリザ

振付：Noism1

音楽：L.ミンクス《ラ・バヤデール》、笠松泰洋

空間：田根剛 (DORELL.GHOTMEH.TANE / ARCHITECTS)

衣裳：宮前義之 (ISSEY MIYAKE)

木工美術：近藤正樹

舞踊家：Noism1 & Noism2

俳優：奥野晃士、貴島豪、たきいみき (SPAC - 静岡県舞台芸術センター)

 りゅとぴあ × 兵庫県立芸術文化センター × 愛知県芸術劇場 連携プログラム

製作：りゅとぴあ 新潟市民芸術文化会館 協力：SPAC-静岡県舞台芸術センター 助成：一般財団法人地域創造 (新潟・兵庫・愛知公演)

提携：KAAT 神奈川芸術劇場 (神奈川公演)

新潟公演



日時：2016.6.17 (金) 19:00, 18 (土) 17:00, 19 (日) 15:00 *全3回

会場：りゅとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

入場料：一般 S席 4,000円 A席 3,000円

U25 S席 3,200円 A席 2,400円 (税込・全席指定)

*U25=25歳以下対象・入場時要身分証明書。N-PACmate 等の割引と併用はできません。

取扱：▶りゅとぴあ (窓口・電話・オンライン)

チケット専用ダイヤル 025-224-5521 (11:00-19:00、休館日除く)

オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

▶イープラス <http://eplus.jp/> (PC・MB)

チケット発売日：4月13日(水) N-PAC mate (りゅとぴあ友の会) 先行 / 4月17日(日) 一般

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

神奈川公演

KAAT
KANAGAWA ARTE THEATRE

日時：2016.7.1 (金) 19:00, 2 (土) 17:00, 3 (日) 15:00 *全3回

会場：KAAT 神奈川芸術劇場〈ホール〉

入場料：一律 5,500 円 (税込・全席指定)

取扱：▶チケットかながわ 0570-015-415 (10:00-18:00) <http://www.kaat.jp/>

▶りゅーとぴあ (窓口・電話・オンライン)

チケット専用ダイヤル 025-224-5521 (11:00-19:00、休館日除く)

オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

▶チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 450-271) <http://pia.jp/t/kaat/>

▶イープラス <http://eplus.jp/> (PC・MB)

▶ローソンチケット 0570-02-9999 (Lコード 33567) <http://l-tike.com/> (PC・MB)

チケット発売日：4月13日(水) KAme (かながわメンバーズ) 先行 / 4月17日(日) 一般

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 提携：KAAT 神奈川芸術劇場

兵庫公演

兵庫県立芸術文化センター

日時：2016.7.8 (金) 18:30, 9 (土) 16:30 *全2回

会場：兵庫県立芸術文化センター〈阪急中ホール〉

入場料：A席 4,000 円、B席 2,500 円 (税込・全席指定)

取扱：▶芸術文化センターチケットオフィス

0798-68-0255 (10:00-17:00 月曜休/祝日の場合翌日) <http://www.gcenter-hyogo.jp>

▶イープラス <http://eplus.jp/> (PC・MB)

▶チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 448-740) <http://pia.jp/t/>

▶ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応)

0570-084-005 (Lコード：55572) <http://l-tike.com/> (PC・MB)

チケット発売日：3月12日(土) 芸術文化センター会員先行予約 / 4月17日(日) 一般

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

愛知公演

愛知県芸術劇場

2016.7.16 (土) 17:00 *全1回

会場：愛知県芸術劇場〈大ホール〉

入場料：SS席 5,500 円、S席 4,000 円、A席 3,000 円、学生 2,000 円 (S・A席/25歳以下)

車いす席 2,400 円 (事務局扱いのみ)、チャレンジシート 1,000 円 (当日のみ)

取扱：▶愛知芸術劇場オンラインチケットサービス <http://www.acc.perf.aichi.jp/dm/>

▶愛知芸術文化センター内プレイガイド 052-972-0430 (10:00-19:00 土日祝 18:00 まで 月曜休/祝日の場合翌日)

▶チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 449-761) <http://pia.jp/t/>

▶アイ・チケット <http://clanago.com/index.html>

▶名鉄ホールチケットセンター <http://www.e-meitetsu.com/mds/hall/>

チケット：4月1日(金)・2日(土) WEB先行、4月9日(土) 電話先行 / 4月17日(日) 一般

主催：愛知県芸術劇場

静岡公演



日時：2016.7.23（土）18:30, 24（日）16:30*全2回

会場：静岡芸術劇場

入場料：一般 4,100 円、SPAC の会一般 3,400 円

ペア割引 3,600 円（2 名様で 1 枚につき）／ グループ割引 3,200 円（3 名様以上で 1 枚につき）

ゆうゆう割引 3,400 円（満 60 歳以上の方）／ 障がい者割引 2,800 円（障害者手帳をお持ちの方）

学生割引（大学生・専門学校生） 2,000 円／（高校生以下） 1,000 円

※ゆうゆう割引、学生割引は公演当日、受付にて身分証をご提示ください。

※障がい者の付添の方（1 名様）は無料。電話・窓口のみ取扱い。

取扱：▶ SPAC チケットセンター

電話予約 Tel:054-202-3399（10:00-18:00）

窓口販売 静岡芸術劇場チケットカウンター（10:00-18:00）

web 予約 <http://spac.or.jp/ticket>

携帯電話予約 <http://spac.or.jp/m/>

チケット発売日：5 月 22 日（日）SPAC の会会員先行予約／5 月 29 日（日）一般

主催：SPAC - 静岡県舞台芸術センター

「ラ・バヤデール」公演特設サイト <http://labayadere.noism.jp>

劇的舞踊『ラ・バヤデール』の公演特設サイトを開設。作品のあらすじや登場人物関係図のほか、クリエーションの様子や、演出家 & クリエイター、出演者による特別対談などのスペシャルコンテンツを随時更新予定。

※4 月上旬サイトオープン（予定）



企画に関するお問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 上杉・堀川

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel : 025-224-7000 Fax : 025-224-5626 Mail : info-noism@ryutopia.or.jp

Noism オフィシャルウェブサイト www.noism.jp

www.facebook.com/NoismPR @noismPR

公演の開催及び詳細に関するお問い合わせ

新潟・神奈川公演……りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Tel : 025-224-7000

兵庫公演……兵庫県立芸術文化センター Tel : 0798-68-0206（担当：原）

愛知公演……愛知県芸術劇場 Tel : 052-955-5506（広報マーケティング室）

静岡公演……静岡芸術劇場 Tel : 054-203-5730（担当：仲村・内田）